スクリーンプリント

すくりーんぷりんと

概要

スクリーンプリントは、版画の孔版形式での代表的な版種のひとつです。木枠や金属枠にテトロンなど肌理の細かい繊維を張り、版として用います。製版では、繊維に乳剤などを用いて表現したい図像を残して地の部分を目止めします。刷りでは、図となる孔部からインクを押し出して、紙などの支持体に印刷するのがスクリーンプリントのシステムです。

スクリーンプリントは、正式名称をシルクスクリーン・プロセス・プリンティング（silkscreen process printing: 英）と言い、シルクスクリーンやスクリーンプロセスなどと呼ばれることもあります。また、特に美術作品としての版画を指してセリグラフィ (sérigraphie: 仏) と呼ぶこともあります。

スクリーンプリントは、ステンシルや型紙を使用した染物に見られる技法などが起源だとされていますが、この技術自体の歴史は新しく、19 世紀にヨーロッパでその技術が考案され、20 世紀初頭にイギリスでスクリーン印刷技術として確立されることとなりました。この技術は、素材を問わずに大量印刷が可能であることから、商業媒体の分野で発展することとなりました。その後、美術作品の制作にもこの技術が用いられるようになり、徐々に現代アートの分野にも浸透することとなりました。

スクリーンプリントの版にあたるスクリーンの素材には、当初シルク（絹）が使われていましたが、現在ではテトロン（ポリエステル）やナイロンなどの化学繊維が主流となっています。スクリーンは均一な網目状になっており、目の細かいものほどシャープで繊細な表現が可能となります。スクリーンは印刷する支持体や使用するインク粘性、図柄の細かさなどにあわせて選択すると良いでしょう。

製版は、スクリーンに感光乳剤を塗布して感光させる写真製版法、原紙と呼ばれる紙をスクリーンに貼り付けるカッティング法、油性の描画剤でスクリーンへ描画した後にヒラーと呼ばれる水性の目止め液を塗布するブロッキング法があり、どの方法も非描画部分のスクリーンに目止めをすることで、インクの通過部分と非通過部分を

Copyright © 2007-2009 Musashino Art University. All Rights Reserved.

作り出していきます。印刷の際には、版に油性もしくは水性のインクをのせ、スキージーを用いて描画部分の孔からインクを押し出して印刷します。インクは版を通過して支持体に印刷されるため、版から支持体に転写される他の版式とは異なり、図像が反転しないという特徴があります。また、印刷された支持体の表面はムラの無い均一な色面となります。

スクリーンプリント 制作工程（写真製版法）

描画
- ポジティブの制作

▼

製版
- 乳剤を版に塗布して乾燥させる
- 感光してポジティブを版に焼き付ける
- 水をかけて現像して乾燥させる

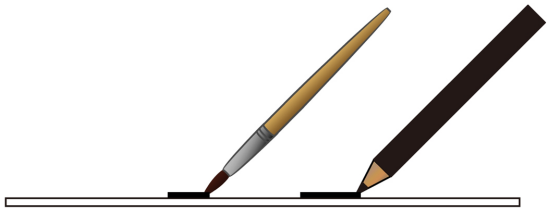
▼

印刷
- 版を作業台に固定する
- 版にインクをかぶせる
- スキージで印刷する

▼

完成

工程 1. 描画・ポジティブの制作

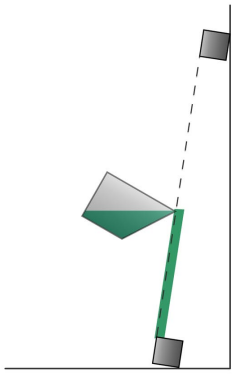


光を通さない描画材（ダーマトグラフ、クレヨン、オペークペン、オペークインクなど）を用いてフィルムに描画します。

工程 2. 描画・ポジティブの完成

ポジティブ（原稿）が出来上がった状態。

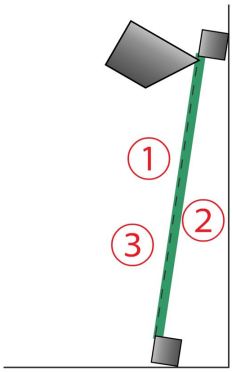
工程 3. 製版・感光乳剤の塗布



あらかじめ感光乳剤を用法にそって混合しておき、バケットで版面に塗布します。

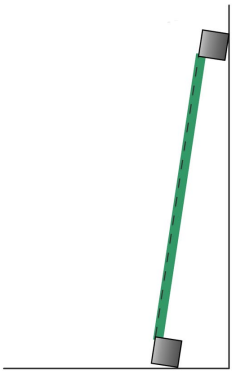
Copyright © 2007-2009 Musashino Art University. All Rights Reserved.

工程 4. 描画・製版・感光乳剤の塗布



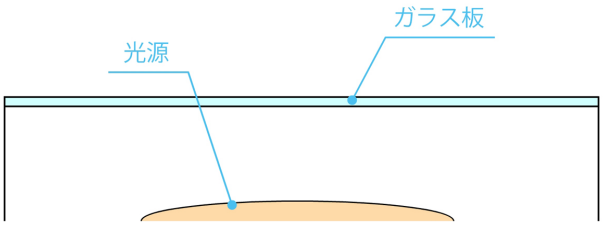
感光乳剤は版の平らな面、凹んだ面、平らな面の順に、3 回塗布します。はみ出した感光乳剤はウエスで拭き取っておきましょう。

工程 5. 描画・製版・感光乳剤の乾燥



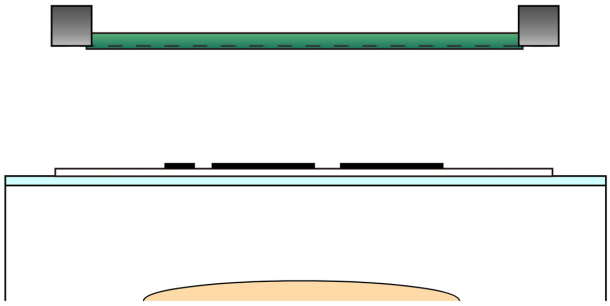
感光乳剤が塗布できたら、乾燥機や暗室で乾燥させます。

工程 6. 製版・ポジティブを焼き付ける準備



ポジティブを焼き付けます。感光機や写真用のレフランプを使って感光製版を行います。暗室で行いましょう。

工程 7. 製版・版にポジティブを焼き付ける

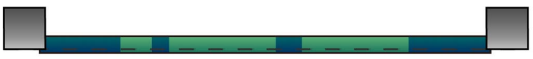


光源に対して、ガラス板、ポジティブ、版の順に重ねます。

工程 8. 製版・露光

版の上にクッションを置いて蓋をすることで、ポジティブと版を圧着させます。露光を行います。

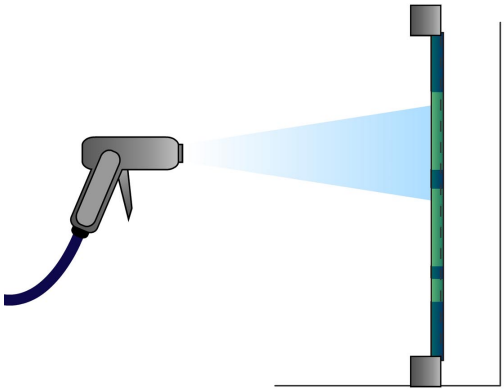
工程 9. 製版・ポジティブの焼き付けの完成



露光を行った版の状態。

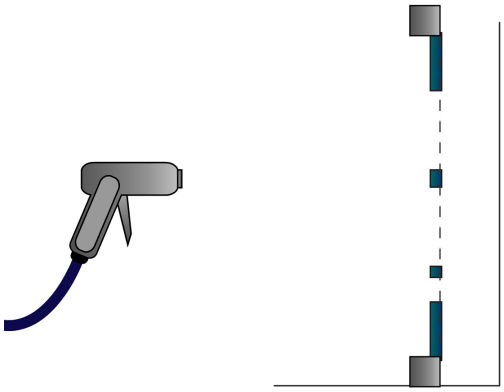
Copyright © 2007-2009 Musashino Art University. All Rights Reserved.

工程 10. 製版・現像



水を使用して版の現像を行います。版を壊さないように気をつけながら行いましょう。

工程 11. 製版・版の乾燥

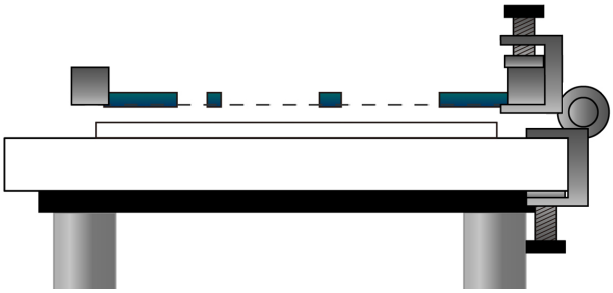


版を現像した状態。版に残った水分は新聞紙などで吸取り乾燥機などで乾かします。

工程 12. 印刷・紙の準備

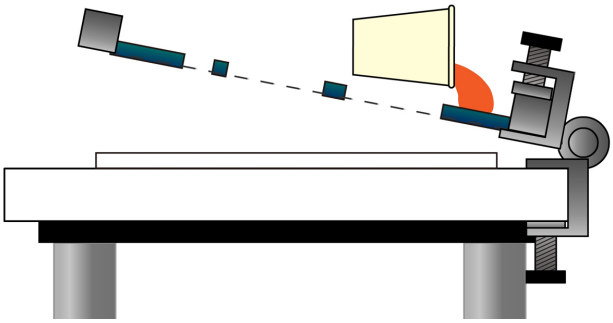
版を乾燥させたら印刷を行います。あらかじめインクの調色を行っておくと良いでしょう。紙は作業台の上に置きます。

工程 13. 印刷・版の準備



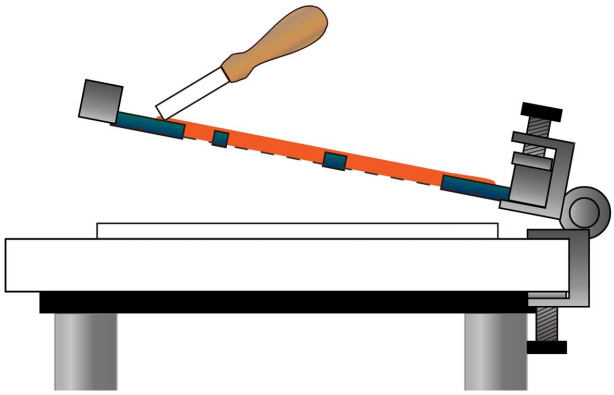
版はホルダーでしっかりと作業台に固定します。

工程 14. 印刷・版にインクをのせる



版を少し上げてその下に物を挟み置くなどして固定しておき、あらかじめ調色しておいたインクを版にのせます。

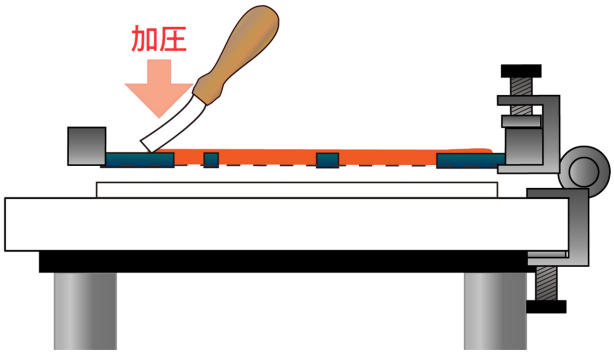
工程 15. 印刷・版にインクをかぶせる



スキージーを使い下から上にインクをかぶせます。

Copyright © 2007-2009 Musashino Art University. All Rights Reserved.

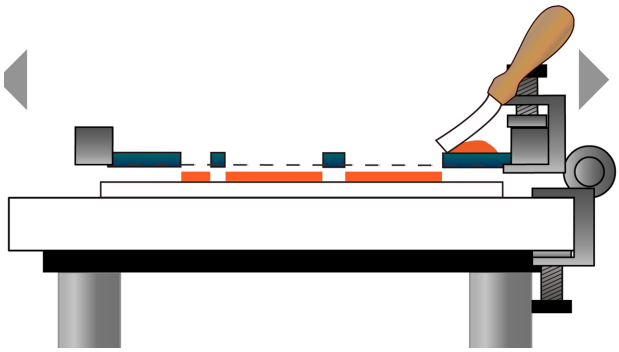
工程 16. 印刷・スキージーで刷る



スキージーに圧をかけて、一定の角度を保ったまま手前に引いて、印刷します。

紙に刷られたインクは均一な厚さの面になります。

工程 17. 描画・スキージーで刷る



印刷を行った状態。版（スクリーン）の目の間からインクが下の紙に落ちて印刷が行われます。

工程 18. 完成・刷りあがった作品の状態

刷りあがった作品の状態。

Copyright © 2007-2009 Musashino Art University. All Rights Reserved.